

<特徴のあるホテル4>

能舞台のある宿

1 静岡県 修善寺温泉 あさば旅館

◆◆ 能舞台「あさば月桂殿」◆◆



あさば旅館は延宝3年(1675年)創業。座敷やテラスから池越しに見る能舞台「あさば月桂殿」は100年前に深川富岡八幡宮から移築されたもの。年4・5回の定期能や狂言会のために手入れが行き届いており、後方の竹林や鬱蒼とした樹木、夕方もとされる吊り灯籠も風情がある。

4 石川県 深谷温泉 元湯石屋

◆◆ 加賀宝生流の能舞台 ◆◆

日本古来の伝統芸術一能。加賀藩前田家では歴代の藩主がその発展に力を注いできた。加賀宝生流を愛した「石屋」六代目二左衛門が出湯の里深谷の地に本格的な能舞台を作った。野外能舞台で、静寂なるたたずまい。



6 広島県 湯坂温泉郷 ホテル賀茂川荘

◆◆ 能舞台「月花殿」◆◆

日本庭園のひと段高いところにある能舞台「月花殿」では、「賀茂川荘薪能」「越中八尾おわら風の盆」を毎年定期公演をおこなっている。

600年の伝統を誇る能の幽玄、300年に渡り連綿と受け継がれてきた風の盆の優美。賀茂川荘自慢の庭園が相まって魅せる美しさがある。

そのほか、「歌舞伎舞踊」・広島県の伝統芸能「神楽」などのイベント公演などに利用。

2 愛媛県 道後温泉 大和館本館

◆◆ 能舞台「千寿殿」◆◆



明治元年(1868年)創業の大和屋本店は、10年前の96年、改築に合わせて4階の屋上に能舞台「千寿殿」を設けている。

松山は高浜虚子の兄、能楽研究家池内信嘉氏の出身地だけに、能楽を地域の伝統文化に思う気風が強い。

毎日、宿泊客に能楽体験サービスを熱心に行っている。



3 岐阜県 下呂温泉 水明館

◆◆ 能舞台「石橋の間」◆◆



観世流能楽師・関根祥六師の監修で建築された本格能舞台。昭和7年(1932年)創業の下呂温泉水明館は、60周年の91年に新館を増築した際、1階「石橋の間」に舞台を設けている。三代目滝多賀男社長のご母堂が観世流関根祥六師に師事していて、下呂の謡曲の会を主宰していた。



5 長野県 屋神温泉 石苔亭いしだ

◆◆ 能舞台「紫宸殿」◆◆

地元伝統芸能の宴者が「はな」をテーマとした舞台を能舞台紫宸殿にて毎夜開催。

宿は昭和59年(1984年)創業と新しいが、4年後の88年、湯治旅館から今の純和風旅館に建替える際に能舞台「紫宸殿」を設けている。石田小夜子女将が観世流浅見重好師に習っていて、能「木賊」に出てくるご当地、園原に相応しいものということだった。大手門のような門をくぐり、玄関に入ると目の前に能舞台がある。狂言会も開催されている。



